

## Contents

1. 全日本大学対抗選手権大会のご案内
2. インカレに向けて 主将抱負
3. 国際競技会結果・報告
4. 安嶋千晶先輩 茨城国体で完全優勝！
5. 夏合宿を振り返って
6. 鶴飼信一前部長 感謝の集い
7. 訃報
8. 昭和45年卒同期会を開催
9. 第30回バーベル会結果
10. 2019年度稲門体育会会員総会模様
11. 稲門体育会ゴルフコンペ結果
12. 年会費納入のお願い



茨城国体で日本ジュニア記録を更新した  
佐藤康太郎選手（スポーツ科学部1年）

(写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載)

## 全日本大学対抗選手権大会のご案内

今年度のインカレ（第65回全日本大学対抗選手権大会・第20回全日本大学対抗女子選手権大会）が以下のとおり開催されます。皆さまぜひご来場いただき、ご声援くださいますようお願い申し上げます。

期日：11月15日（金）～17日（日）

会場：埼玉県上尾市 スポーツ総合センター（JR高崎線「上尾駅」東口より徒歩25分/タクシー10分）

日程	階級	選手名	補欠
11/15 (金)	10:00	M55kg 家吉理空（社会科学部1年）	吉田旭（社会科学部4年）
		M61kg 宮下一心（社会科学部1年）	上野大翔（スポーツ科学部2年）
	12:35	W45kg 新川百音（スポーツ科学部4年） 鈴木莉乃（スポーツ科学部1年）	
		W49kg 鈴木梨羅（スポーツ科学部3年）	
	14:00	M67kg 木村勇喜（スポーツ科学部3年）	坂本拓夢（スポーツ科学部1年）
	15:50	W55kg 原沙織（スポーツ科学部1年）	奥村紀香（スポーツ科学部2年）
	17:30	M73kg 知念勇樹（スポーツ科学部3年） 生頼啓暉（スポーツ科学部2年）	西野溪心（スポーツ科学部2年）
11/16 (土)	10:00	M81kg 佐藤康太郎（スポーツ科学部1年）	橋本拓実（社会科学部3年）
	11:20	W71kg 戸田妃乃子（スポーツ科学部3年）	本澤瑞記（社会科学部3年）
	13:10	M89kg 田中裕也（スポーツ科学部3年）	
	15:05	W76kg 西村深聡（スポーツ科学部2年）	前田早菜（社会科学部3年）
		W81kg 吉武温子（スポーツ科学部1年）	
W87kg 佐熊汐梨（社会科学部2年）			
11/17 (日)	10:00	M102kg 岡村幸尚（社会科学部2年） 柏木良太（スポーツ科学部1年）	森田恭平（教育学部2年）
	13:00	M+109kg 西堅也（スポーツ科学部1年）	

## インカレに向けて 主将抱負

今年度のインカレに向けて男子・女子主将から抱負をいただいていますのでご紹介します。昨年に続き早稲田にとって実り多い大会となるよう、また男女揃っての活躍を期待します。

早稲田大学ウエイトリフティング部関係者の皆さま、いつもご支援・ご声援をいただき誠にありがとうございます。お陰様で今年度も全日本大学対抗戦 I 部に男女ともども参加することができます。

本大会チームの目標は、男子は団体戦4位、女子は団体戦優勝を掲げています。この目標は、昨年度的全日本大学対抗戦が終了し、チームが新体制となつてすぐに決定したものであり、約一年間この目標を練習場にも大きく張り出して士気を高め、日々練習で切磋琢磨してまいりました。

一瞥して、特に男子の目標が4位というのは低いと思われるかもしれませんが、この目標は近年の男子の順位低迷からの脱却、そして女子においては連覇できるチームになるために、数年先を見据えた中長期の目標を設定しシミュレーションした結果に基づくものです。

私がこの一年間主将としてチーム作りにおいて最も意識してきたことは、目標・アクションプラン・今やるべきことを具体化することでした。これにより、多くの選手がシーズン序盤から本大会を意識して練習に取り組み、積み重ねにより万全を期すことができます。本番でもチームとして一同全力を出しきります。よろしく願いいたします。

男子主将 吉田旭（社会科学部4年）

ウエイトリフティングは個人競技ではありますが、大学の試合の中で最も大きい試合で唯一の団体戦がこのインカレです。男子10人・女子8人と限られた選手しか試合に出ることができません。

出場するためにも全員が必死に記録を伸ばそうと日々努力しています。また、今年は部員が今までで一番多く、男女ともお互いに切磋琢磨しながらインカレに向けてこれまで練習してきました。

はじめはまとまっていなかったこのチームも一人ひとりが「チームとして何ができるか」を考えるようになり、部の雰囲気も良い方向に向かっています。

試合では、女子主将としてまたトップバッターとしての役割を果たしてチームに貢献し、目標の団体戦優勝を達成するためにチーム一丸となって頑張ります。

応援よろしく願いいたします。

女子主将 新川百音（スポーツ科学部4年）

# 国際競技会結果・報告

9月にタイのパタヤで開催された世界選手権にOGの松本潮霞選手（H26卒）が出場しました。また、8月にドイツのマイセンで開催されたブルースワードカップに鈴木梨羅選手（スポーツ科学部3年）が出場しました。鈴木梨羅選手は同大会の記録により、女子45kg級で世界ランキング7位となっています。両選手からコメントを寄せてもらいましたので、結果とあわせてご紹介します。

2019 IWF 世界選手権大会（9/18-25 タイ・パタヤ）				
階級	選手	Snatch	C & Jerk	Total
W64kg級	松本潮霞	93kg	112kg	205kg

調整練習でしっかり準備をして臨みましたが、試合にピークを合わせることができませんでした。

昨年の世界選手権から5大会連続3本、今大会は2本と成功率が落ち続けています。どんな場面でも力を発揮できるよう、取り組み方を考え直します。

この度も出場にあたりOB・OGの皆さまから多大なご支援を賜り、本当にありがとうございました。

東京オリンピックの代表選考大会も、来年の4月まで残り2大会となりました。絶対に最後まで戦い抜き、東京オリンピックに出場します！

今後とも応援よろしくお願いいたします。

松本潮霞（H26卒）



（写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載）

ブルースワードカップ（8/29-31 ドイツ・マイセン）				
階級	選手	Snatch	C & Jerk	Total
W45kg級	鈴木梨羅	71kg	92kg	163kg



10月茨城国体に出場した鈴木梨羅選手

いつもたくさんのご支援・ご声援誠にありがとうございます。8月末にドイツで行われたブルースワードカップに45kg級で出場させていただきました。

今大会は、預けた荷物が届かないハプニングに見舞われたり国内での試合とのギャップに戸惑ったりと、これまで経験してきた海外での試合の中で最も臨機応変に対応する力が求められるものでした。

目標であった大学新記録を樹立することはできませんでしたが、今回の遠征は今後の競技人生においてとても価値のあるものになると確信しております。

自分の未熟さを感じるとともに、世界でトップ選手と戦う先輩方の偉大さを実感し、そんな先輩方に少しずつ近づけるよう日々の練習に取り組んでいきます。

今後ともご声援のほどよろしくお願いいたします。

鈴木梨羅（スポーツ科学部3年）

（写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載）

# 安嶋千晶先輩 茨城国体で完全優勝！

10月2日～6日、茨城県高萩市にて第74回国民体育大会が開催され、早稲田勢は部員・OB・OGあわせて男女18名が各都府県の代表選手として出場しました。



茨城国体で完全優勝を達成した安嶋選手

男子は、知念勇斗選手（H31卒）が55kg級で3位（ジャーク1位）、木村勇喜選手（スポーツ科学部3年）が67kg級で3位入賞を果たしたほか、73kg級に出場した佐藤康太郎選手（スポーツ科学部1年）がジャークで170kgを挙げて日本ジュニア記録を更新しました。

女子も、内門沙綾選手（H30卒）が59kg級で2位、原沙織選手（スポーツ科学部1年）が55kg級で3位入賞果たすなど、早稲田勢にとって美りの多い大会となりました。

4日目の5日に行われた女子-55kg級では、地元茨城県出身の安嶋千晶選手（H31卒）が6本全ての試技を成功させて見事完全優勝を成し遂げました。

スナッチ、ジャークともに第2試技で順位を確定させ、いずれも第3試技で自己ベストを更新。茨城県選手団の天皇杯・皇后杯獲得に大きく貢献しました。

安嶋先輩、おめでとうございます！

第74回国民体育大会（10/2-6 茨城県高萩市）				
階級	選手	Snatch	C & Jerk	Total
W-55kg級	安嶋千晶	81kg	105kg	186kg

（写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載）

## 夏合宿を振り返って

8月9日から13日まで宮崎県で夏合宿を行ってきました。初めて宮崎に行く部員も多く、出発からみんなでワクワクしていたのを覚えています。

夏合宿では全員で同じメニューを行い、いつも以上に盛り上がり練習することができました。男子のメニューをやるのは初めてだったのですが、普段やらない動きや時間で区切られていることもあり、がむしゃらにやるというよりは考えながらやるという感じでした。しかし、そのおかげで怪我をする選手も少なく、自分の調子に合わせた練習ができていたと思います。

また、練習のない時間は宿舎からすぐの海でみんなで遊んだり、青島神社へ行って必勝祈願をしたりしました。みんなの気持ちが一つになり、インカレに向けて一致団結できたと思います。

こんなに素晴らしい合宿になったのも多くの人のおかげでこそだと感じています。そのことを忘れず感謝の気持ちを持ってインカレに向けて練習に励んでいきたいと感じました。

山口千尋（スポーツ科学部2年）



練習場での集合写真

# 鵜飼信一前部長 感謝の集い

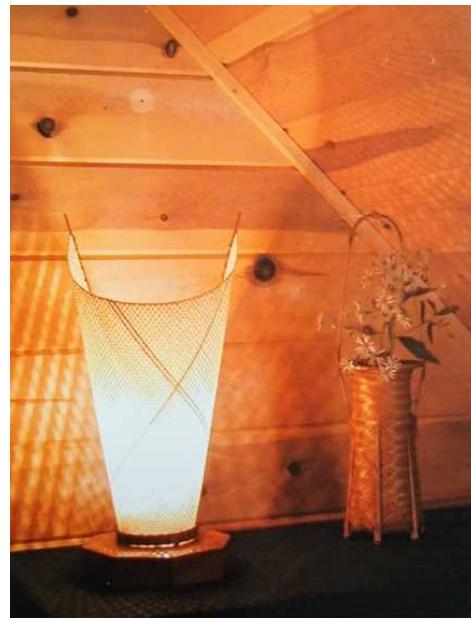
6月16日、早稲田キャンパス11号館大会議室にて鵜飼信一前部長 感謝の集いを開催しました。

高校生のブロック大会や各県の国体予選が重なりましたが、OB・OG・現役部員総勢約66名の皆さまにご出席いただき、岡田純一部長の挨拶、志田典明会長の発声による乾杯でスタート。

歓談中にはビデオで鵜飼さんも参加された昭和40年代の合宿や部長在任中のインカレの様子を上映。さらにサプライズで記念のデコレーションケーキが登場、奥様のレイ子様とお二人でケーキ入刀を行っていただきました。

後半は、出席が叶わなかった先輩方から寄せられた数々の思い出と感謝のメッセージを現役部員が代読し、その一つ一つに対して鵜飼さんの思い出をコメントしていただきました。続いて、昭和45年卒・岡田正三先輩、昭和46年卒・秋葉裕一先輩、昭和48年卒・水谷吉朗先輩に学生時代のエピソードや卒業後の様子を、また平成19年卒・田原良平先輩には長年に渡る指導・サポートに対する感謝をスピーチしていただきました。

多数のご賛同をいただいた記念品は、竹工芸・田中旭祥こと昭和48年卒・田中憲一先輩に制作していただいたランプシェード「竹のあかり『燦羽』」を贈呈。続いて鵜飼さんからご挨拶をいただき、出席者全員で校歌斉唱、鵜飼さんにエールをおくり、盛会のうちに終了しました。



鵜飼さんへの記念品  
ランプシェード「竹のあかり『燦羽』」

ご参加ご協力いただいた皆さまに深謝申し上げます。



## 訃報

9月、葉坂仁司先輩（S40卒）が永眠されました。

長年にわたる当部ならびに当会へのご支援に対し心から感謝申し上げ、哀悼の意を捧げます。

# 昭和45年卒同期会を開催

10月20日、早稲田大学卒業50周年記念に早稲田アリーナでのホームカミングデー記念式典に出席してきました。ウエイトリフティング部の一員として卒業して早50年です。

高校時代まで何の運動部にも所属せず（かといって勉強いそしんだ訳でもありませんが）カッコ良い体を作りたい目的で入部し、同部で4年間を過ごさせていただいた私は、胃潰瘍や母親の病気のために何回か退部したいと思ったことがありますが、先輩、同輩、後輩のおかげで何とか続けられて、健康面や精神面でもその後の人生に大いにプラスになったと思っています。



記念式典後、高田馬場駅前での記念写真  
向かって右から上野、岡田、榎、三浦、林、森(武彦)、坂本、谷川

勿論強くなるに越したことはありませんが、記録が伸びずにウエイトリフティングの選手としては良い成績をあげられなくても、続けることによって得られることが多いと思います。現役時代は選手として部に貢献できなくても、その後OB・OGとして貢献できることがあるかも知れません。また、同期の集いは卒業後50年経っても素晴らしいです。現役時代の昔話に花を咲かせることで気持ちも若返るものです。

是非、昭和46年卒業以降の諸先輩もそのような機会を多く持って年を重ねて下さい。

最後に同期の皆さんありがとう。

谷川吉史 (S45卒)

## 第30回バーベル会結果

9月19日、JGMやさど石岡ゴルフクラブにおいて第30回バーベル会（早慶重量挙OB親睦ゴルフ会）が開催されました。当日は絶好のゴルフ日和で、参加者全員のびのびとプレーを楽しむことができました。

慶應重量挙三田会から9名、探球会から9名、計18名がエントリーし5組に分かれてラウンド。競技方法は恒例のノータッチ完全ホールアウト方式で両校上位5名のグロス合計による団体戦と新ペリア方式による個人戦が行われました。

プレー後に表彰式・懇親会が行われ、団体戦は慶應453ストロークに対し早稲田435ストローク。18ストローク差で早稲田が勝利し通算成績は早稲田18勝、慶應12勝となりました。個人戦は三田会・立川博之先輩が優勝。ベストグロスは78ストロークで森武彦先輩（S45卒）でした。

探球会では新規メンバーを募集しています。バーベル会を含め年に2～3回開催していますので、ゴルフの経験がある方、まだ始めたばかりの方も、親睦を深めるためぜひご参加ください。

藤田和雄 (S44卒)



スタート前に参加者全員で記念撮影

# 2019年度稲門体育会会員総会模様

7月27日、早稲田アリーナで稲門体育会会員総会が開催されました。

心配された台風6号も進路が逸れて、44体育各部のOB・OG総勢約1,000人が参集。当会は代表委員・岩永勉先輩と富田史子先輩の呼びかけでOB・OGご家族合わせて25名が出席しました。

河野洋平会長の挨拶、田中愛治総長ビデオメッセージ、来賓祝辞に続き、競技スポーツセンター・石井昌幸所長の発声で乾杯。競走部OBの瀬古利彦さん、野球部OB・監督の小宮山悟さん、スケート部OGの八木沼純子さんらがスピーチで盛り上げ、最後は応援部のリードで「早稲田の栄光」と「都の西北」の大合唱でお開きとなりました。

出席いただいた皆さま、ありがとうございました。



早稲田アリーナでの集合写真

## 【出席者】

S31卒：林平八郎 S33卒：竹林正佳 S35卒：古川雍夫 S42卒：田口薫  
S44卒：内村正月・藤田和雄・村岡芳彦 S45卒：上野稔・岡田正三・谷川吉史・森武彦  
S46卒：秋葉裕一・高橋明 S47卒：岩永勉・薮田雄一 S49卒：高橋敏夫 S51卒：伊藤茂  
H18卒：平山邦明 H19卒：富田史子 H25卒：土屋千晶・吉野千枝里 H28卒：小町史華

## 稲門体育会ゴルフコンペ結果

10月10日、千葉県野田市の千葉カントリークラブ梅郷コースにおいて、第10回稲門体育会ゴルフコンペが開催されました。

本会からは田口薫先輩（S42卒）、藤田和雄先輩（S44卒）、上野稔先輩（S45卒）、森武彦先輩（S44卒）、石橋義久先輩（S51卒）、野中の6名が参加。34の体育各部稲門会と競技スポーツセンターから総勢99名が参加し、ONTコースとINコースに分かれて午前8時にスタート。曇りの予報に反して暖かな日差しのもと、他部の同期や先輩後輩と談笑、励ましあいながら、日本オープン開催の名門18ホールをノータッチルールで腕を競いました。

プレー終了後に表彰式・懇親会が行われ、当会メンバーは個人では森先輩の5位が最高。各部ネット上位2名の合計スコアによる団体戦は森先輩と藤田先輩が貢献され「5位」の成績でした。

野中弘一（H01卒）

## 年会費納入のお願い

早稲田大学ウェイトリフティング部の運営ならびに選手の育成・強化のため、また勧誘活動・受験指導のため、当会からの経済的支援が不可欠です。年会費の納入がまだお済みでない方はお振り込みをお願いします。

納期：2019年度分は2019年12月末までに（なるべくお早めに）お振り込み願います。

振込額：卒業4年目以降：12,000円 卒業3年目まで：10,000円

振込先：金融機関／支店 = みずほ銀行 新宿新都心支店

科目／口座番号 = 普通 8220922

受取人名 = トウモンウェイトリフティングクラブ